

2007年8月21日

報道各位

日本板硝子株式会社

インドにおいて自動車用ガラス工場建設を開始

当社連結子会社であるピルキントン社が、インド・ヴィシャカパトナム市において自動車用ガラス工場の建設を開始いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

当該工場は当社グループのピルキントン社が経営にあたり、生産開始は2008年の夏頃を予定しております。建設費用は約150万ユーロ、生産能力はフロントガラス年産約50万枚、従業員は約350人の予定であります。

ヴィシャカパトナム市はインド東岸の中央部に位置するアンドラ・パラデシュ州に属しており、建設予定地は、地元政府の支援のもと、高いコスト競争力を備えています。

また、地元地域はインドでも高い成長が見込まれており、内外からの投資が集まる中、道路・鉄道等のアクセスやユーティリティなど必要なインフラも整い、沿岸部には原材料輸入と製品輸出の可能な国際港とコンテナターミナルがあります。

インド自動車市場は成長著しく、2020年には750万台を超えると予想されています。インド経済の年成長率は9%を越えており、自動車セクターは近年20%を超える年成長率を示しています。

本件投資は、当社グループによるインドでの事業拡大を確実なものとし、世界ナンバーワンのガラスメーカーとなるための重要な要素といえます。

【お問い合わせ先】 日本板硝子(株)広報・IR部 電話：03-5443-9477



アンドラ・パラデシュ州
ヴィシャカパトナム市

以上